



RUGBY
WORLD CUP™
JAPAN 2019

チームキャンプ
TEAM CAMP

ラグビーワールドカップ® 2019™

公認チームキャンプ地

春日市の取組

KASUGA CITY

KASUGA CITY



大会公式マスコット【レンジー】

目 次

実行委員会	1
実行委員会専門員会議	3
春日市ラグビーフェスタ 2019	5
Twitter 開設	6
施設整備	7
シティ・ドレッシング	8
ラグーめし食おう隊（春日市商工会）	9
春日市民図書館講演会	10
チームの足跡（カナダ代表）	11
チームの足跡（アイルランド代表）	13
チームの足跡（フランス代表）	14
ラグラグビーの普及	15
トレーニングフィールドを体感	17
オリジナル PR グッズ	19
小中学校で歓迎 応援メッセージボード	21
小中学校で歓迎 折り鶴（アート）・会場応援・学校給食	22
パブリックビューイング	23
つくしラグビーフェスタ 2019	24
スポーツボランティア「SCRUM KASUGA」	25
RWC2019 日本大会を振り返る	27
総括表	29
関係者名簿	31

すべての市民の記憶に残る大会となるラグビーワールドカップ2019™

春日市は、2019年9月22日から10月14日までの間、ラグビーワールドカップ2019™（RWC2019）におけるアイルランド代表、フランス代表、カナダ代表の公認チームキャンプ地として、国際スポーツ大会での役割を果たしました。

2016年から一般社団法人つくし青年会議所（つくしJC）を中心にRWC2019キャンプ地誘致のための署名活動が行われ、7千人近くの方々の熱い思いを、春日市に託していただきました。そして、春日市は公認チームキャンプ地選定プログラムに応募し、その後の審査を経て、2018年4月に公認チームキャンプ地に内定をいただきました。

このとき、市長である私は、大きな喜びとともに、公認チームキャンプ地となる機会を、「より多くの市民がスポーツに親しみ、ボランティアが支え、国際理解を深める」きっかけになるよう、全市的に盛り上がる取り組みにしていきたいと考えました。そこで、市議会、自治会連合会、体育協会、商工会を代表する方々に本実行委員会の発起人を引き受けていただくように御相談申し上げ、2018年9月に全市的な組織として「ラグビーワールドカップ2019™ 公認チームキャンプ地・春日市実行委員会」を設立いたしました。以来、多くの市民、関係団体の皆様の御支援と御協力をいただき、公認チームキャンプ地としての機運の醸成を図るイベントやPR事業を実施してまいりました。

御承知のとおりRWC2019は、観客動員数延べ170万人余、ファンゾーンの来場者も130万人余と、かつてない規模の大会となりました。また、大会ホスト国として、日本代表が初のベスト8入りし、さらに、わが国の「おもてなしの精神」や困難な災害に対する「回復力と復興」を国内外に大いにアピールできた、素晴らしい大会だったと思います。

本実行委員会においては、ラグビーフェスタなどのスポーツイベントの開催、発信力のあるPRグッズの制作・配布、キャンプ実施国を理解する企画、子どもたちによるおもてなしの折り鶴やパネルの制作、パブリックビューイングの運営支援、スポーツボランティアの組織化支援など、数多い事業を実施し、全市的にRWC2019と公認チームキャンプ地を盛り上げることができました。

さらに、公認チームキャンプ期間中は、アイルランド、カナダ両代表による地域交流イベントが開催され、国際交流が進むとともに、将来を担う子どもたちの記憶にRWC2019が深く刻まれたことと確信しております。

来年は、東京オリンピック・パラリンピック2020開催の年です。世界のトップアスリートが再びわが国に結集し、本市においても聖火リレーイベントを実施します。今後もスポーツを「する、みる、支える」ことで、さらによりよいまちづくりが進むことを願い、会長としてのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

2019年12月



ラグビーワールドカップ2019™ 公認チームキャンプ地・春日市実行委員会
会長 井上 澄 和



ラグビーワールドカップ2019™ 公認チームキャンプ地・春日市実行委員会

◆誘致からキャンプ地内定まで

2016年11月、「ラグビーワールドカップ日本大会キャンプ地誘致のための請願署名」6,951人分が春日市長へ提出されました。これを受けて、2016年12月、春日市は公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会（以下「組織委員会」）に対して「ラグビーワールドカップ2019™ 公認チームキャンプ地選定プロセス」の応募書類を提出しました。

春日市を含む筑紫地区は、伝統を持つ少年少女のラグビーチームが各市にあります。さらに、高校ラグビー強豪校も近く、全国大会出場経験者も多く輩出しており、全国的に見てもラグビーが盛んな地域と言われています。RWC2019の福岡開催決定を契機に、春日市での公認チームキャンプ地の実現に向けて、ラグビーを愛する多くの人々が立ち上がりました。

その後、組織委員会による書類審査と対象施設の実地審査を経て、2018年4月20日、春日市は、正式に「ラグビーワールドカップ2019™ 公認チームキャンプ地」に内定したことが組織委員会から公表されました。

組織委員会から直接の公表はありませんが、数ある候補地の中から、春日市が選ばれた理由を挙げるとすれば、「キャンプ施設の質の高さ」、「大会会場からの近さ」、「地域のラグビーへの思いの強さ」ではないかと考えられます。

◆春日市実行委員会

RWC2019の成功とともに、春日市における公認チームキャンプ地の取り組みが、未来ある子どもたち、春日市を愛する全ての市民にとって、公認チームキャンプ地に選ばれた都市のみに残される有形、無形のレガシーとして存在し続け、心に刻まれるものへとつないでいくために、全市的な組織として「ラグビーワールドカップ2019™ 公認チームキャンプ地・春日市実行委員会」（以下「実行委員会」）が設立されました。



（設立発起人：左から秋枝恵美自治会連合会会長、金堂清之市議会議長、井上澄和市長、城田正博体育協会会長、吉岡統三商工会会長（役職は設立総会時点））

年度	期日	内容
2018年度	設立総会 2018.9.29	○設立発起人紹介 ○設立発起人代表者挨拶 ○説明 - RWC 2019の概要 - 公認チームキャンプ地について ○議事 - 第1号 実行委員会設立趣意書について - 第2号 実行委員会会則について - 第3号 実行委員会役員等について
	第1回総会 2018.9.29	○説明 - 行政の推進体制・事業について ○議事 - 第1号 2018年度実行委員会事業計画について - 第2号 2018年度実行委員会収支予算について - 第3号 専門員への委任事項について
2019年度	第1回総会 2019.5.25	○議事 - 第1号 2018年度実行委員会事業実績報告について - 第2号 2018年度実行委員会収支決算報告について - 第3号 2019年度実行委員会事業計画について - 第4号 2019年度実行委員会収支予算について ○報告 - RWC 2019福岡開催推進委員会の取り組み - トピック紹介
	合同会議 2019.8.31	RWC 2019開幕を目前に控える中、実行委員会委員と専門員が一堂に会し、これまでの活動報告及び今後のイベント情報などを共有した。
	第2回総会 2019.12.14	○報告 - 実行委員会活動の総括 ○議事 - 第1号 2019年度実行委員会事業実績報告について - 第2号 2019年度実行委員会収支決算報告（見込み）について - 第3号 剰余金の処分について



実行委員会専門員会議

◆実行委員会専門員会議

実行委員会は、事業の円滑な遂行のために、事業の特性に応じた専門員を置くことができることとし、次の事項を専門員会議に委任しました。

1. PR用品デザインの企画及び実施に関すること
2. 市民向けイベントの企画及び実施に関すること
3. 白水大池公園多目的広場の愛称募集の企画に関すること
4. 白水大池公園多目的広場改修後こけら落としイベントの企画に関すること

専門員は、福岡県ラグビー協会、春日リトルラグーズクラブ、商工会、つくしJC、メディア関係者などの方々に参画していただきました。

期日	内容	結果など
第1回 準備会議 2018.8.2	○説明 キャンプ地受け入れに向けたスケジュール及び予算について、権利上の制約などについて ○意見交換 2018 年度事業について	白水大池公園多目的広場の愛称を募集する。 ラッピング新幹線、SNSの活用、スポーツバーの設置、パブリックビューイングについて情報を収集する。
第2回 準備会議 2018.8.28	○報告 キャンプ地におけるRWC2019に関連したビジネスの禁止・寄付金募集活動の禁止について ○協議 実行委員会にて提案する事業について	ロゴ入りポロシャツの販売、寄付金募集活動、クラウドファンディングなどは、NGが判明した。 [提案する事業]横断幕掲出(市役所他)、トップリーグの観戦招待、プロモーション冊子及び動画制作(J:COM制作)、大畑大介氏を招いたイベントへの協力、PRステッカー制作

第3回 専門員会議 2018.12.26	○報告 実行委員会の設立について 公認チームキャンプ地におけるパブリックビューイングの実施について 白水大池公園改修後こけら落としイベントの実施について その他機運醸成事業について	日本代表vアイルランド代表のパブリックビューイングの実施を引き続き検討する。 白水大池公園改修後こけら落としイベントを7月7日に開催し、低学年向けのタグラグビーなどを計画する。 小学校タグラグビー教室を九州電力キューデンヴォルテクスの協力により実施する。 中学校で応援メッセージボードを制作する。
第4回 専門員会議 2019.3.28	○報告 春日市商工会から つくしJCから ○協議 白水大池公園多目的広場の愛称の選考	商工会有志による機運醸成を食の提供で実施する。 RWC期間中につくしラグビーフェスタを実施する。 電子媒体(YouTube、SNSなど)を活用したPRを引き続き検討する。
第5回 専門員会議 2019.6.18	○報告 実行委員会総会の審議結果について 各企画の進捗状況について 商工会有志 つくしJC 春日市・春日市教育委員会	ラグーめし食おう隊を7月から実施する。 つくしラグビーフェスタと同日にパブリックビューイング(日本代表vアイルランド代表)を実施する。
実行委員会委員及び専門員合同会議 2019.8.31	○報告 世界を食べよう企画「ラグーめし食おう隊」 小学校でのタグラグビー教室 自治会連合会実務者研修「スポーツと健康管理」 白水大池公園多目的広場こけら落としイベント アイルランド大使によるセミナー 施設整備・改修及びシティドレッシングの状況	RWC2019開幕を目前に控える中、実行委員会委員と専門員が一堂に会し、これまでの活動報告及び今後のイベント情報などを共有した。



春日市ラグビーフェスタ2019

公認チームキャンプ地受け入れの事前の盛上げを目的として、春日市総合スポーツセンター指定管理者「かすがまちづくりパートナーズ」と共催で「春日市ラグビーフェスタ2019」を開催しました。

【期日】 2019年2月2日

【会場】 春日市総合スポーツセンター

【内容】 元日本代表の大畑大介氏とアンドリュー・マコーミック氏によるラグビー教室、トークショー、キャンプ実施国であるアイルランド料理、カナダ料理の飲食ブース、ラグビー体験コーナーなど

トークショーでは、ラグビーの魅力やRWC2019における注目選手などについて語られました。

カナダ料理については、当初提供できる飲食店などが見つからなかったものの、春日市商工会青年部の協力により、提供が実現しました。カナダ風フライドポテト「プーティン」とマカロニを使った家庭料理「クラフトディナー」は大変好評でした。

また、当イベントはスポーツボランティア「SCRUM KASUGA」の1年目の研修の一環としても位置付け、当日はスポーツボランティアが会場設営及び観客誘導、ラグビー体験コーナーの運営などで活躍しました。



大畑大介氏によるラグビー教室



ラグビー体験コーナー



観客でいっぱいになったトークショー



Twitter 開設



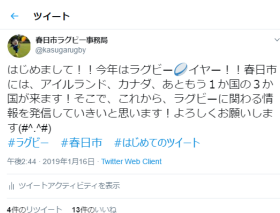
3月19日セント・パトリックスデー

2019年1月から、ラグビー事務局のTwitterのアカウントを開設し、大会前の機運醸成や、大会中の情報発信に活用しました。

内容は、ラグビーの基本的なルールや春日市でキャンプを行う3カ国の情報、地域のラグビーに関係するイベントや試合などから始まりました。開幕してからは、大会の予定や結果、キャンプ期間中のアイルランド代表とカナダ代表のイベントなどを発信しました。キャンプ期間の日程や場所などはチームが安心して練習ができるよう配慮しながら、チームの様子を発信しました。

フォロワー数は、12月5日現在247人。

10月30日に発信したアイルランド代表を見送るスポーツボランティアの様子は、組織委員会にリツイートされ、22万7千人が閲覧し、1,895いいね、233リツイートされました。また、パブリックビューイングやその他関連イベントでは、Twitterを見て来場したという市民の声も聞くことができました。



1月16日
はじめてのツイート



2月19日ラグビーって？



9月27日
カナダ歓迎イベントの様子



10月3日
カナダ代表からのメッセージ



9月11日
カナダ歓迎イベント告知



10月30日アイルランド代表見送り



施設整備

◆白水大池公園管理棟

管理棟は、本大会を契機に大規模改修を実施しました。選手の利用を想定し、トイレ便座の洋式化、温水シャワー改修に加え、授乳室設置など今後の市民の利便向上を図りました。アイルランド代表は、チームルーム（2階展示室）でスクリーン、プロジェクターを活用し戦術ミーティングなどを行いました。

Fukuoka1 OTV/Gym

図表4.2(1)



◆多目的広場

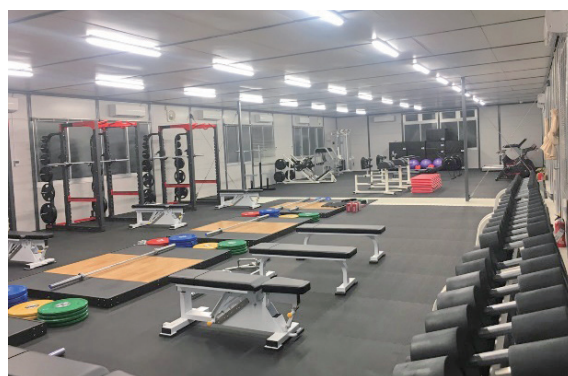
組織委員会が示す要件に従って練習グラウンドの整備を行いました。練習グラウンドを本大会に相応しい最高の水準に保つため、RWC 2019に関連して使用されることを認識した上で芝生管理を行い、組織委員会が指定した芝生管理の専門家から最高の評価を得ました。また、サインプレーなどチームの練習が見えないよう外周にセキュリティフェンスを張り巡らすとともに、撮影台、休憩用テントなどを設置しました。さらに、ゴールポールは、国際基準（高さ13メートル）のものを新設しました。



練習グラウンド

◆仮設施設

管理棟には配置できない更衣室、医務室、倉庫、トレーニングジムは、練習グラウンドに隣接した場所に仮設で設置しました。また、練習グラウンドが直接見えない芝生広場にメディアルームを仮設で設置しました。ジムには、トップアスリートに対応した本格トレーニング機器をレンタルで調達し、選手のウェイトトレーニング用として、提供しました。その他、総合スポーツセンターサブアリーナと温水プールを練習施設として指定しました。



トレーニングジム



仮設施設



シティ・ドレッシング

大会機運醸成のため、さまざまな装飾やPRグッズを作成しました。大会名、ロゴマーク、公式キャラクターを使用するためには、組織委員会の承認を受けなければならず、そのルールは非常に厳格なものでした。

装飾・PRグッズには組織委員会が提供するものと市のオリジナルデザインがあります。



デザイン提供のぼり 市役所周辺



デザイン提供多目的パナー 春日小学校フェンス



JR春日駅でのカウントダウンボード除幕式



市役所市民ホール



横断幕



【デザイン担当：影田 奈都美】